

「東所沢小学校だより」

令和2年度 7月号

(特色ある学校づくりテーマ)

「地域に根ざした生き生きとした
学校づくり」をめざします。



◆学校教育目標

◇すすんで学ぶ子

◇思いやりのある子

◇たくましい子

発行 所沢市立東所沢小学校

〒359-0021 所沢市東所沢 2-26-1

TEL04-2945-5431 FAX04-2945-5430

URL <http://www.tokorozawa-stm.ed.jp/>

E-mail higasitoko-e@tokorozawa-stm.ed.jp

児童数 6/30 現在 509名

7月のお話朝会 ～思いやりの心～

校長 鈴木克彦



おはようございます。

令和2年度がスタートして、約1ヶ月が過ぎようとしています。クラスの仲間と授業を受けたり、給食を食べたり、休み時間にはお話をしたり、遊んだり……。みんなで過ごす学校生活はどうか？まだまだ、今まで通りの学校生活には戻っていないお友だちもいると思いますが、皆さんの東所沢小学校は、3ヶ月続いた臨時休業から、いままで普通にできていた学校生活に戻ろうとしています。一步一步しっかりと進めていくこと、少しだけ頑張っただけ進めていくこと、そして、すぐにできるように進めなくてはいけないことなど、色々なことがあると思いますが、クラスの仲間や先生方と協力して生活をしていきましょう。

さて、皆さんは学校生活が始まって、いま、どんなことを感じていますか？

今回の新型コロナウイルス感染症により、様々な制限があったり、皆さんが楽しみにしていた行事等が制限されたり、中止になったり……。世の中では、感染防止のために、頑張ってお仕事をしている人たちに、本来なら感謝しなくてはいけないのに、「新型コロナウイルスに感染するかもしれない」という心配から、いじめや嫌がらせなど、とても残念な話を耳にした人もいます。



私たちは、学校休業中の生活を通して、当たり前のように学校生活が送れていたのは、多くの人の支えがあったからだ気付いたと思います。だからこそ、この度の経験を通して、改めて、「思いやりの心」を大切に生活できれぱと思います。



思いやりは、優しくされた人だけでなく、優しくした自分も幸せになれます。人に優しくすると相手もうれしくなったり、自分もうれしくなったりします。反対に意地悪をすると、その時は面白かったり、胸がスカッとしたりするかもしれませんが、後で嫌な気持ちになったり、寂しい思いをします。「気持ちのよい挨拶」と似ていますね。多くの人に支えられていることに感謝し、思いやりの心を大事にしていきましょう。

また、相手を思いやる行動が取れないこともあると思います。「恥ずかしい」とか「勇気を出せなかった」とか、人にどう思われるだろうと気にしてしまい、行動に移せない時があると思います。でも、自分の心の中に「親切にしたい」「何かしてあげたい」と思ったら、その気持ちを持た、自分の心を褒めてあげましょう。そして、次は頑張ってみようと思うことが大事になり、実際に行動に移すことができたとしたら、それは、自分を大きく成長させるチャンスになると思います。日々の生活の中で、「自分に何ができるか」を考えながら生活できるように頑張っていきましょう。

1学期の残り1ヶ月！生活リズムを取り戻し、学習・生活のまとめをしていきましょう。

※新型コロナウイルス感染症がいつ終息するのか、まだまだ先が見えない中で生活していく上で、これからは「新しい生活様式」を意識しながら、健康・安全に気をつけていかなければなりません。また、暑い夏をむかえ、「熱中症」にも気をつけていかなければなりません。文部科学省からは、新型コロナウイルス感染症予防の観点として「マスクの着用」が、熱中症予防の観点からでは、「人との距離が一定に保てればマスクをはずす」ように指示が出ています。どちらも自分の命を大切に、自分の身を守るために出されているものです。時と場所、状況に応じて、自分で判断して行動ができるように、日頃から「自分で考えて行動できる」ようにしていましょう。



